厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

できることが見つかるかも！

知ってほしい
3つのポイント

家庭で育つあたたかさを、子どもたちへ。

里親になってみませんか？

はじめての「里親制度」

知るとできることがある

里親制度は、
健やかな育ちの場を必要とする
“子どものため”の制度です。

里親制度があることによって、子どもたちに家庭環境のあたたかさのもとで育つ機会をプレゼントすることができます。

ポイント1
いろいろな里親のかたちがあります！

短期 短期間でも里親登録が可能です！

数日〜OK
季節・週末里親
お正月休みや長期休み、週末などに数日〜1週間程度子どもを家に迎える里親

長期

委託期間は多様
養育里親
様々な事情により家族と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭で養育する里親

法的な親子関係
養子縁組里親
養子縁組によって、子どもと法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する里親

ポイント2
受け入れまで段階を踏むので安心！

1. 相談　児童相談所にご相談ください。里親制度について詳しくご説明いたします。
2. 研修・家庭訪問　研修は数日間で、里親制度や子どもの権利擁護について学び乳児院などで実習も行います。
3. 登録　都道府県の審査を経て、里親登録となります。
4. 子どもとの出会い　子どもの紹介を受けて面会し、外出や数日間の宿泊などで交流します。

里親委託

ポイント3

医療費・教育費も！
子どもの養育に必要な経費が
毎月支給されます　※養育里親の場合

里親手当(月額)		生活費(月額)
1人目/8万6000円 2人目以降/4万3000円	＋	乳児/5万8570円 乳児以外/5万800円

※別途、医療費・教育費なども支給されます

気になるQ&A

何か特別な資格は必要？	所定の研修を受けるなど一定の要件を満たしていれば、特別な資格は必要ありません。里親さんに望まれるのは、子どもへの豊かな愛情です。
共働きでも大丈夫？	子どもの養育に支障のない範囲での共働きは問題ありません。必要に応じて保育所や放課後児童クラブなども利用することができます。
子育ての経験がなくても大丈夫？	大丈夫です。研修での知識取得はもちろん、不安な点は児童相談所の職員や里親専門の相談員、地域の交流会などでご相談いただけます。

里親制度について もっと知りたい

はじめての「里親制度」特設サイト
https://ybs.yomiuri.co.jp/mhlw/satooya/
または → 公益法人全国里親会（https://www.zensato.or.jp/）

里親制度に興味がある・里親になりたい

お近くの児童相談所にお問い合わせください。
全国児童相談所一覧
全国共通ダイヤル 189（いちはやく）

厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

Webでも情報配信中

Topics
1 里親体験談
2 里親制度の3つのポイント

里親体験談

子どもが健やかに成長するには、家族に愛され、また子ども自身が愛されていることを実感することが大切です。ところがいま、日本にはさまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもが約45,000人もいます。そうした子どもたちを自分の家庭に迎え、家族の“あたたかさ”に触れる機会を提供する制度、それが「里親」です。

Interview 1
双子の育児に戸惑い、里親を一時「休憩」 心のリセットで得た笑顔と成長の日々

鷺谷 信二さん（51歳）・円さん（46歳）東京都在住

Profile 児童養護施設でのボランティアをきっかけに、東京都のフレンドホーム※という制度に登録。2015年に養育家庭の登録。2017年11月に1歳5か月の男の子の双子を紹介される。

専門学校に通っている男の子のほか、今年2月に2歳9か月の双子の男の子を受託しました。

乳児院での交流を経て昨年8月から長期外泊で受け入れましたが、実はその約1か月後に、いったん乳児院に帰すことになりました。私たちはこんな小さな子を育てた経験がありません。子育てをめぐって、夫婦の考えも一致せず、話し合いができなくなりました。突然けんかが始まるなど行動が全く予想できず、責任の重さに自信を喪失してしまったのです。

「休憩」を経たことで、気持ちを切り替えることができました。先輩里親たちのアドバイスや児童相談所スタッフの仲裁もあって、夫婦の関係が修復できました。「（子育ては）こうでなくては」と深刻に考えすぎていたのかもしれません。夫婦で十分に話し合い、児童相談所の面談を経て、再び双子を受け入れることになりました。

乳児院での再会時、双子はスタッフの背後に隠れ、照れ笑いをしながら私たちを迎えてくれました。彼らの方が「（私たちが親になるのを）待ってくれていたんだ」と気付かされた瞬間でした。

※児童養護施設や乳児院で生活している子どもを、学校がお休みの期間などに、各施設で登録している一般の家庭で数日間預かる制度

Interview 2
「お父さん、お母さん」と呼べるうれしさ その両親の大きな支えに恩返しをしたい

私は、生後1か月くらいの時に、兄、姉とともに乳児院に入りました。その後、さまざまな児童養護施設を転々とし、小学校1年生の夏に兄姉と一緒に坂本家に来ました。そして2016年9月に養子縁組をしました。

ずっと施設で育ちましたので、初めて「お父さん」「お母さん」と呼べる人ができ、「家族」というものが自分にもできたんだ、といううれしさがとても大きかったですね。先にいた一つ上の女の子、一つ下の男の子ともすぐに打ち解けることができました。家族ができて一番うれしかったのは、夏休みの家族旅行。みんなで伊豆や熱海などに行くのが楽しみでした。

今は教師を目指して大学に通いながら、母と共に、年少から中学3年生まで5人の子どもと生活する「ファミリーホーム」のスタッフをしています。施設にいたままでは、大学に入ることなど考えられませんでした。これまでたくさん支えられ、人生の選択肢を広げることができたことを、両親にはとても感謝しています。その恩返しの意味もあり、私自身今は里親である母の手助けをしています。

坂本歩さん（24歳）東京都在住

Profile 明治大学総合数理学部現象数理学科に在籍し数学の教師を目指して勉強中。児童福祉の活動を行うIFCAのほかに、八王子の里子の会「ほいっぷジュニア」の代表を務める。

Interview 3
いい親にならなくては…気負っていた私 子育て8人「待ってあげる大切さ」知る

29歳の時に初めて里親となってから、これまで8人の子どもを育ててきました。

最初、たった3か月の間に2歳10か月と小学1年の2人の男の子の里親になった時は、夫も私もまったく子育ての経験がなかったこともあり、本当に大変でした。

ただ、2人ともとてもいい子で、すぐに「おかあさん」と呼んでくれるようになりました。なにものにも代えがたい幸せで、「里親になってよかった」と思いました。

里親になりたての頃は、「いい親にならなくては」と気負っていて、それが子どもの負担となり、なかなか信頼関係を築くことができませんでした。経験を積むことで、肩の力が抜け、子どもを「待ってあげる」ことができるようになりました。それで随分、子育てが楽になりました。

これまでの経験から、結局、私たち親ができることといえば、子どもがちょっと道を踏み外そうとした時に、そっと押し戻してあげるだけなのかもしれないと思います。これから里親になろうという方には、ぜひそのような存在になっていただきたいですね。

金川世季子さん（68歳）埼玉県在住

Profile 現在は、2年前に養子縁組をした29歳の息子、高校3年の娘と中学2年の息子の3人の子どもと一緒に暮らす。自らの経験を役立ててもらおうと、埼玉県の里親等相談支援員を務める一方、「埼玉里母の会」と「志希の集い」のメンバーとして活動している。

News

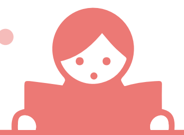
Webサイトにてフルインタビュー公開中！

ここでは紹介しきれなかった体験談や、里親制度について気になる様々なことを、はじめての「里親制度」特設サイトにて公開しています。お手持ちのパソコンやスマートフォン、タブレットでぜひご覧ください。

https://ybs.yomiuri.co.jp/mhlw/satooya/

QRコードを読み取ってアクセス！

子育て未経験でも大丈夫？　困ったときはどうしてる？　手続きは大変だった？



QRコードの商標はデンソーウェーブの登録商標です。

里親が育てる。
社会が支える。

フォスタリングマークについて

フォスタリングマークは、里親制度の普及や、里親養育を支えるネットワークを築くきっかけとして誕生したシンボルです。温かな家庭を必要とする子どもが、育ちを支える里親家庭と結ばれ、その里親家庭を支える社会の輪が広がっていくことをめざしています。